

トイレトラックの導入について

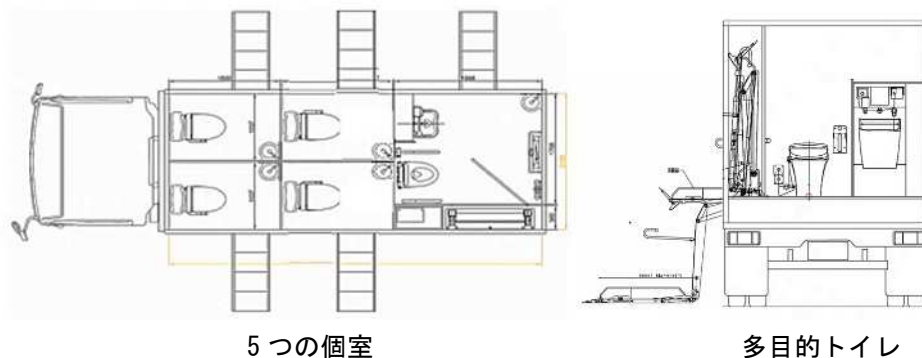
1. 概要

能登半島地震の教訓や被災地への派遣職員の声、全区民アンケートの分析結果等から、区は今年度、断水時でも水洗トイレとして活用できるトイレトラックを23区で初めて導入する。また、災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参画し、区が被災した際に受援体制および被災地への支援体制を構築する。

2. 事業内容

(1) トイレトラックの主な機能

- ① 5つの個室を備え、1室は車いすやオストメイトに対応した多目的トイレ。
- ② 給水・汚水タンク、太陽光パネルを備え、断水・停電時でも利用可。
- ③ けん引免許不要。平成19年以前の免許取得者であれば普通免許で運転可。



(2) 災害時・平常時の運用

- ① 区が被災した際は、同プロジェクトに参加している他自治体のトイレトレーラー等も受け入れながら、被害状況に応じて区内各地へ派遣する。
- ② 区以外が被災した際は、同プロジェクトに参加している他自治体と連携しながら、区が所有するトイレトラックを被災地へ派遣する。
- ③ 平常時は、防災訓練やイベント等で活用し、災害時のトイレ問題を啓発する。

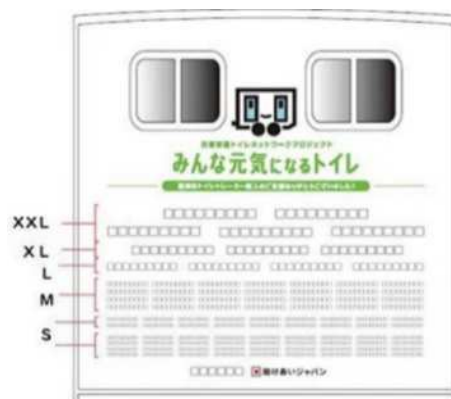
3. 取組状況

(1) クラウドファンディング等

- ① 実施期間 令和6年11月1日(金)～12月31日(火)
- ② 進捗状況 目標 5,000千円
実績 14,232千円(達成率285%)(令和7年1月6日現在)
 - ・ふるさとチョイス：4,247千円/126件
 - ・企業・団体の寄付：9,985千円/40件

トラック後部イメージ

- ③公開方法 希望者(社)については、寄付者(社)名をトイレトラック後部、広報紙、区ホームページに掲載する。



(2) 車体デザイン

- ①選定方法 被災地での癒しとなり、区のブランディングにも寄与するというコンセプトから、区内5地区（品川・大崎・大井・荏原・八潮）から魅力的な風景を各1案、計5案を事前に選定し、以下のアンケートにより上位2案を採択した。

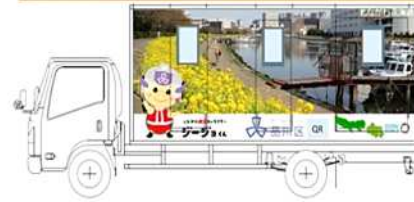
①天王洲の夜景 品川地区



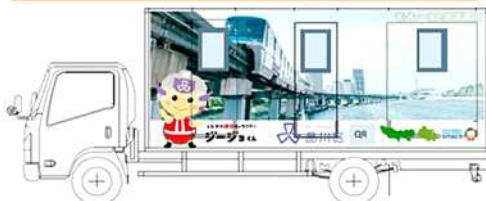
②目黒川の桜 大崎地区



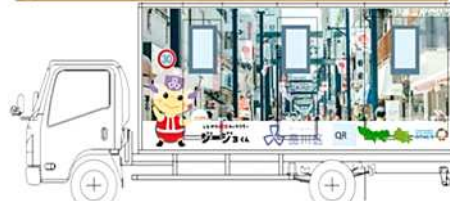
③しながわ海道 大井地区



④モノレールと京浜運河 大井・八潮地区



⑤戸越銀座商店街 荏原地区



- ②アンケート 期間：令和6年10月26日(土)～11月1日(金)
 方法：電子申請サービス、タウンミーティングにて、5案の中から良いと思うデザインを2つ選択する。
 回答数：101件（電子申請：89件、タウンミーティング：12件）
 発表：調印式にて発表する。

4. スケジュール

- 2月下旬 トイレトラック納車
 3月3日 調印式(助けあいジャパンと協定締結)、トイレトラック披露
 3月9日 しながわシティラン会場にてトイレトラック体験・啓発の実施